

「データ解析とOR」研究部会の活動について

01302652 新潟大学 田中 謙輔 TANAKA Kensuke

本研究部会の正式な発足は1992年4月からであるが、実質的な活動は1991年7月より開始している。設立の意図は、ORを中心に従来の学会活動の枠を越えて、それぞれの研究や実務上でのテーマや悩みなどを、肩ひじを張らずに気楽に議論し意見を交換する場を設けることであった。新潟県内において、理論や実務の各分野に従事して幅広く活動している方々の参加を募り、特にデータ解析に焦点をあてて、実際に直面している問題の研究やアプリケーションの開発、さらには新しい研究のための糸口を探ることを目的とした。

以下に、この3年間の発表テーマについて簡単に紹介する。

- ・ 1991年 7月 テーマ 「ORの歴史と理論 - 今後の発展に向けて -」
発表者 田中謙輔（新潟大学理学部）
- ・ 1991年 11月 テーマ 「重回帰分析とその周辺」
発表者 寺沢達雄（新潟大学教養部）
- ・ 1991年 3月 テーマ 「非線型計画法の基礎 - 理論を対象として -」
発表者 横山一憲（新潟中央短期大学商学科）
- ・ 1992年 5月 テーマ 「ゲーム理論とOR」
発表者 田中謙輔（新潟大学理学部）
 テーマ 「開発系性能評価に関する考察 - コンピュータにおけるレスポンスタイムの最適化の追求 -」
発表者 斉藤文郎（BSNアイネット）
- ・ 1992年 9月 テーマ 「選挙予測について - 政治学の立場から考える -」
発表者 沖野安春（新潟大学教養部）
- ・ 1992年 11月 テーマ 「データ解析とシミュレーション - 科学教育の立場から考える -」
発表者 下村忠行（新潟中央短期大学商学科）
- ・ 1993年 5月 テーマ 「コーホート分析について - その考え方と問題点 -」
発表者 寺沢達雄（新潟大学教養部）
- ・ 1993年 10月 テーマ 「非線型計画問題に対する近似解について」
発表者 横山一憲（新潟中央短期大学商学科）

- ・ 1993年 11月 テーマ 「数理決定とその解について」
発表者 横山一憲（新潟中央短期大学商学科）
- テーマ 「情報系の人材育成について - 新潟に設立されたシンクタンクのめざすもの -」
発表者 石田雅義（新潟ソフトウェアセンター）
- ・ 1994年 2月 テーマ 「PascalによるBasicインタプリタの作成 - プログラミング自習支援システムの開発 -」
発表者 竹内照雄（新潟大学教養部）
- ・ 1994年 7月 テーマ 「コンピュータ教育の現状と展望について」
発表者 梁 龍（仁箇工業専門大学）
 田中謙輔（新潟大学理学部）
- テーマ 「日韓の国家試験制度について」
発表者 朴 洪（韓国職業訓練管理公団）
 石田雅義（新潟ソフトウェアセンター）
- ・ 1994年 11月 テーマ 「最適化サブルーチン・ライブラリ - OSLib & パラレルOSLib概説 -」
発表者 尾花 茂（日本IBM）

現在、登録している会員は50人ほどであるが、週休2日制の影響もあって、恒例の土曜日午後の開催では参加者が少なくなる傾向にある。そのため、都合のよい開催日や希望するテーマ等についてアンケート調査を実施し、少しでも参加しやすい環境を整えようと努力しているが、OR学会の正規会員も少なく参加者が限定されてきた。また、発表者も特定の人に集中して、当初の意図からはやや外れてしまい、より魅力ある研究部会とすべく苦心しているところである。

平成6年度の研究会は、現在まで実施回数が2回と少ないが、開催をまとめ、韓国の研究者との交流会を実施するなどして多少でも輪を広げるようにした。部会としては、本年度内にもう1回の開催を予定している。

また、本年4月に行われるOR学会「RAMPセミナー」を新潟地区で引受けの素地が、この部会を土台として醸成された。この3年間の活動を通して、従来の学会活動の枠を越えた気楽に議論し意見を交換する場としての役割や新しい研究のための糸口を探るという当初の目標は、ある程度達成できたように思う。

最後に、3年間にわたるOR学会の本部会に対する多大なご援助とご協力に、心から感謝申し上げる次第である。